

# あゆむ

No.281

2018  
2月

## 総会シリーズ

# 金華山を歩こう

●**清水緑地公園** JR岐阜駅の南側では、もともとあった天満公園を廃止し、清水川沿いの清水緑地と統合して、新たに「清水緑地」とする整備を、2002年度から「岐阜市」が行なって、2005年4月15日に「清水緑地」が完成し、多くの人の憩いの場として利用され始めています。

公園は4つのエリアから構成されており、全長190mの小川やヤマザクラなどの木がある「ホタルの杜(ホタル育成エリア)」、イベントも開催できる広い空間のある「さくら広場」、子供たちには打って付けの「親水広場」、そして清水川の河川敷や散歩道などからなる「歴史散歩道(エリア)」があります。

市街地の中心部に、これだけ豊かな自然があるのも、岐阜市の魅力の一つかもしれません。



●**御鮎街道** 御鮎街道(おすしかいどう)とは徳川家康への鮎鮓の献上ルートのことである。岐阜から熱田を結ぶ尾張街道の別名のこと「鮎鮓街道(あゆすしかいどう)」と呼ばれていた。

慶長8年(1603年)に美濃国奉行であった大久保長安が徳川家康、秀忠に鮎鮓を献上元和元年(1615年)からは毎年5月から、9月ごろまでの間に10 - 20回、岐阜町の御鮎元から、加納(岐阜市)問屋場を経て、笠松問屋場で受け継ぎ、一宮(愛知県)問屋場へ、そして江戸へと送られた。1回に鮎鮓4桶(1桶に鮎大10尾、小20尾)を1荷として3 - 5荷を江戸城に向けて輸送したようである。江戸に着くころに発酵して食べごろになるように作られていたため、予定の期日に遅れないように岐阜から江戸までの46の宿場を通過する時間を指定しており、当時の宿場帳によれば、岐阜から江戸まで5日間で運んでいたようである。

↑ 鮎鮓街道・笠松問屋跡

●**榑森神社・粕森公園** 榑森神社・粕森公園は、柳ヶ瀬から東へ5分ほど東に歩いた所にある。金華山山系の一番南端、水道山の麓に位置する。

・榑森神社は、第12代景行天皇時代に創建された。御祭神は市牟雄命。(伊奈波神社の御祭神の皇子)

一時、瑞龍寺の守り神とされたが、明治になって神と仏が分離されて以来、美園町の氏神とされた。

家庭円満、縁結び、学業成就、安産などの神として知られています。鳥居前には、織田信長が岐阜城在城の折、榑の下で開いた楽市楽座で有名な「御菌の榑」があります。

織田信長が開いた楽市楽座の市神がこの木の下に祀られたものです。

現在の榑は「市」の文化財として指定されていますが、「御菌の榑」の孫に当るもので、明治11年10月、明治天皇御幸のため道路改修が行なわれた際、現在地に移植されたものです。

**粕森公園** 榑森神社の横にある公園です。発音は同じ「kasimori」なのですが漢字で書くと違うのです。由来ははっきりしません。

昭和の頃は公園内にボウリング場があったり、プラネタリウムがあった。水道山へ通じるリフトがあったりして、このあたりは手近な娯楽を楽しめる場所でした。時代が移り変わるにつれ、それらの施設も閉鎖されていき、近年水道山も含め、大規模に公園の改修が行われました。

●**水道山展望台** 水道山展望台からは、眼下に岐阜市の街並、濃尾平野、遠くには伊吹山、能郷白山の美しい風景が見渡せます。



御菌の榑



榑森神社



●**時の鐘** 岐阜城が頂上にそびえる金華山。その金華山西南の一角に権現山があります。この権現山にあるお堂では、毎日朝6時から夜10時まで、一時間ごとに鐘がつかれています。…昔から、岐阜の町の人たちは、この鐘を「時の鐘」とよんで、長い間親しんできました。

「時の鐘」の由来 今から116年前、明治26年(1893)5月、権現山の麓で銭湯を経営されていた村瀬平作さんは、その前々年の明治24年の濃尾震災の大勢の犠牲者の霊を弔う手だてがないものかと思案されていました。その頃たまたま文明開化の横浜に遊び、かの地の「野毛山・時の鐘」を聞かれました。

その時、岐阜の人びとが「岐阜時間」といった約束の時間に遅れても容認してしまう習慣を思い、「山に囲まれた岐阜に『時の鐘』を設置しよう」と考えられたようです。

そんな中、明治27年(1894)に起きた日清戦争で県下一円から初めて戦死者が出たこともあって、村瀬平作さんは「お国のために亡くなった方々を慰霊し、併せて天災や戦争のない平和を祈願しよう」と決意し、呼びかけを始められました。

現在は、「時の鐘」は自動化され、一時間ごとに鳴られるようになっていました。

※ 健康維持・増進には、ウォーキングが最適です。多くの皆様方にウォーキングを楽しんで頂けるようお願いあわせの上参加してください。

総会シリーズ

# 金 華 山 を 歩 こ う

行先地 岐阜市

担当者 古越・国井・山本

## ★ 例 会 案 内 ★

【期 日】 平成 30(2018)年 2 月 11日 (日曜日) 日帰り (雨天決行)

【集 合 場 所】 JR東海道本線 岐阜駅 駅南口より東へ徒歩3分 清水緑地公園(開会式)

【集 合 時 間】 午前 8時 30分までに

【歩 行 地】 ・清水緑地公園 ～ 御鮎街道 ～ 粕森公園 ～ 水道山展望台 ～ 岐阜公園 ～ 京町公民館

【解 散 場 所】 岐阜市 京町公民館 総会終了後 解散

【交通機関】(往)・JR東海道本線(上り)

JR大垣駅 穂積駅 JR岐阜駅  
8:03発 → 8:15発 → 8:21着

・JR東海道本線(下り)

JR名古屋駅 尾張一宮駅 JR岐阜駅  
8:03発(特別快速) → 8:14発 → 8:22着

(複)・JR東海道本線(上り・下り)共に、岐阜駅を、10分～15分毎に発車致します。

【交通費】 JR大垣駅 ～ 岐阜駅(片道) 240円 JR穂積駅 ～ 岐阜駅(片道) 190円  
JR名古屋駅 ～ 岐阜駅(片道) 470円 JR尾張一宮駅 ～ 岐阜駅(片道) 240円

【参加費】 会員・家族会員様は 無料。当日のみの参加者様は 300円(コース調査費・資料代含む。)です。  
※ 新たに入会される方、当日のみ参加者様“歓迎”致します、気楽に集合場所に来て参加申込みをして下さい。  
※ 尚、当日は「歩きたくなる道500選」の、岐阜県の”No4 御鮎街道”の押印が出来ます。

【見 所】 裏面「あゆむ」をご覧ください。

【持 ち 物】 会員証・昼食・飲み物・おやつ・雨具(カッパ等)・健康保険証(コピーは不可)等と、寒さ対策と歩きやすい服装、履きなれた靴で参加して下さい。

【行事担当者】

事前問合せ先

(チーフ) 古越 明  
(サブ) 国井 弘美  
(サブ) 山本 甚吉

当日緊急連絡

Tel 080-2089-7265 (岐阜県ウォーキング協会)  
Tel 058-246-0172 090-1412-2255  
Tel 090-9175-8184